



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

News Release

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL: 03-3593-0139
FAX: 03-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

平成30年12月10日

物流業界の平成30年重大ニュースを発表

(一社)日本物流団体連合会(会長:田村修二)は、会員の協力を得て、平成30年の物流業界重大ニュースをまとめました。これは、会員である団体・企業から、本年のニュースのうち重要なものをそれぞれ1件選定してもらい、応募があったものです。

陸海空に及ぶ20件の物流関係のニュースをカバーしているので、①業界団体のもの、②企業のニュースのうち内容が主に国内案件であるもの、③国際案件に関わるものの順に記載しています。

1. 業界団体ニュース

- ・物流業テレワークガイドラインを策定、シニア活躍推進方策も検討

一般社団法人日本物流団体連合会

女性・高齢者の活躍や働き方改革による物流人材確保のため、物流業テレワークガイドラインを策定すると共に、シニアの活躍推進方策の検討に着手した。

- ・「JIFFA運送約款基礎講座」及び「商法及び国際海上物品運送法の改正セミナー」の開催

一般社団法人国際フレイトフォワードーズ協会

JIFFA運送約款の基礎を学ぶ「JIFFA運送約款基礎講座」を開催。また、改正商法等の説明会「商法及び国際海上物品運送法の改正セミナー」を開催。

- ・9月の台風21号により関西国際空港が被災

一般社団法人航空貨物運送協会

関空が被災して貨物を取扱う機能が失われ、中部、羽田、成田へ2ヶ月に渡り大きな影響を及ぼす。JAF Aは国土交通省へ復旧に係る要望書を提出する。

2. 国内ニュース

・関西圏に弊社初の3PL向け自社倉庫を建設開始

SBSロジコム株式会社

大阪南港に延床面積1.8万坪の自社倉庫を建設中です。柔軟性の高い3PLサービスを提供するべく、来春の稼働に向けた準備を進めています。

・株式会社エービーエクスプレスを子会社化

近物レックス株式会社

エービーエクスプレスの都内エリアでの配送ノウハウを活用し、当社の特別積合とのシナジー効果を図り、顧客のさらなる利便性向上を目指していく。

・造船業界初 RFID を活用して資材管理を効率化

佐川急便株式会社

株式会社大島造船所に、佐川印刷株式会社と共同開発の新型RFIDを活用した資材管理システムを提案し、造船業界として初めて導入された。

・長距離フェリー航路就航50周年

新日本海フェリー株式会社

1968年8月に、阪九フェリーの「フェリー阪九」が神戸と小倉を結ぶ航路に就航したことにより、日本初の長距離フェリー航路が誕生した。

・横浜南本牧埠頭に新倉庫を着工（2019年6月竣工予定）

株式会社住友倉庫

定温空調設備を備え、様々な保管ニーズに対応。2面の接車バースとトラック予約システムの導入により搬入出の円滑化を図り、物流効率化に寄与する。

・国内外で物流拠点14カ所が稼働

センコー株式会社

国内11、海外3、計14カ所（約28万㎡）の物流センターを稼働。3温度帯や最新のマテハン設備導入などで、サービスの多様化と効率化等を図った。

・地域社員制度スタート

第一貨物株式会社

事務職を対象に、全国のみならず、地域を限定した雇用形態を導入。働き方への価値観多様化に対応し、夫々の従業員事情にマッチした処遇を実現。

・トナミ運輸男子バドミントンチームがS/Jリーグ連覇を達成！

トナミ運輸株式会社

本年2月、バドミントンの最高峰「S/Jリーグ2017」においてトナミ運輸男子バドミントンチームが2年連続、通算8度目の優勝を果たした。

・国土交通省の定める「第二種登録船舶管理事業者」に登録

日本海運株式会社

本登録により、船舶保守管理業務に係る船舶の入渠時等の業務を行い、内航海運事業者の船舶保守費用の効率化を図っていく。

・JR貨物 大型物流施設「東京レールゲートWEST」着工！

日本貨物鉄道株式会社

本年9月、東京港や羽田空港から至近の東京貨物ターミナル駅にて、JR貨物初のマルチテナント型大型物流施設の建設に着手。2020年3月完成予定。

・全長23mフルトレーラー試作導入、国交省実証実験に参加

日本梱包運輸倉庫株式会社

従来の環境負荷軽減と輸送効率向上を加速し、更には働き方改革への労働環境改善を目的とした乗継運行による国土交通省の実証実験にも2月より参加。

・日本GLP株式会社に社名変更7棟が竣工

日本GLP株式会社

7棟が竣工し、日本全国で114棟を開発・運営。関連会社として株式会社モノフルの設立を発表し、新たなロジスティック・エコシステムを構築へ。

・京浜トラックターミナル「ダイナベース」が7月に竣工

日本自動車ターミナル株式会社

昨年11月に100%成約となっていたJMTの創立50周年記念プロジェクトである高機能型物流施設「ダイナベース」が予定通り7月に竣工した。

・複数の新規物流施設の整備を推進

三菱倉庫株式会社

神戸市須磨区や大阪府茨木市で物流施設が竣工した。また、横浜市や神戸市で新たな物流施設の建設に着手し、国内物流拠点の整備を進めている。

- ・「働き方改革」推進のため、組織の再編や人事制度の改定を実施

ヤマト運輸株式会社

働き方改革を経営の中心に据え、主管支店新設や関東支社の分割、セールスドライバー正社員化など人事制度の改定によって働きやすい環境づくりを推進。

3. 国際ニュース

- ・ANA初の大型貨物専用機としてボーイング777F型機の購入を決定

株式会社 ANA Cargo

半導体製造装置や完成車などの大型貨物や特殊品、危険品の大量輸送に対応する機材を需要拡大が見込まれるアジア-北米路線に2019年度中投入予定。

- ・国内・海外事業を統合し、一貫のソリューション営業体制を強化

三井倉庫株式会社

持株会社化以降、別会社としていた国内と海外の営業・管理機能を統合。国内外一貫の営業力を強化し、さらに幅広い物流サービスの提供・支援を図る。

以上
事務局 山下